

# 株主通信

第71期 第2四半期

2021年3月1日～2021年8月31日



「神戸ハーバーランドの夕景」。手前の遊覧船・ファンタジー号は現在、気仙沼でベイクルーズ船として活躍している。

## TOPICS | 「WIND EXPO 風力発電展」に出展 漁業との共生につなげる洋上風力発電事業サポートを紹介

長年培ってきた漁業、資源調査、海洋土木での海洋センシング技術とノウハウで、洋上風力発電設備のためのアセスメントに有効な機器提供から施工管理・完成後の維持管理にいたるまで、一貫したサポートを行います。維持管理では、監視レーダー技術を活用した国内初の海域管理システムを提供。さらに、漁業効率化の知見を多く持つ当社の強みを生かし、設備周辺海域での漁場資源の調査や漁業者の出漁判断につながるデータを提供するなど、漁業共生につなげます。



「WIND EXPO 風力発電展」出展の様子（東京ビッグサイト）

FURUNO

目指す姿を示す経営ビジョンのもと、  
実現に向けた経営を推進していきます。



代表取締役  
社長執行役員 兼 CEO  
古野 幸男

### 新型コロナウイルスワクチンの普及に伴い、 景気の回復傾向は維持されています。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、先進国を中心に新型コロナウイルスのワクチンの普及によって経済活動の再開が進んだ結果、景気回復に向かいました。一方で、米中貿易摩擦の長期化、半導体などの部材の供給不足による景気への影響が懸念されています。米国では大規模な経済対策などにより景気回復が進み、欧州では景気回復傾向を維持。製造業を中心に景気回復が続いていた中国では、回復ペースはやや鈍化しました。わが国においては、海外経済の回復に伴う輸出の増加などを背景に、景気持ち直しの動きが続きました。

なお、当第2四半期連結累計期間に適用した米ドルおよびユーロの平均為替レートはそれぞれ107円および130円で、前年同期に比べ米ドルは約1.7%の円高水準、ユーロは約8.4%の円安水準で推移しました。

### 船用および産業用事業の業績アップにより、 売上高は前年同期を上回りました。

このような状況のもと、当社グループにおいては無線LAN・ハンディターミナル事業の分野では売上が減少したものの、船用事業および産業用事業の分野で売上が増加しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は431億3千9百万円、営業利益は29億円、経常利益は32億8千3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億4千4百万円といずれも前年同期を上回りました。

当社グループは、経営ビジョン「FURUNO GLOBAL VISION“NAVI NEXT 2030”」の実現に向けた中期経営計画のフェーズ1の2年目を迎え、顧客提供価値と企業価値の両面を持続かつ発展的に高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

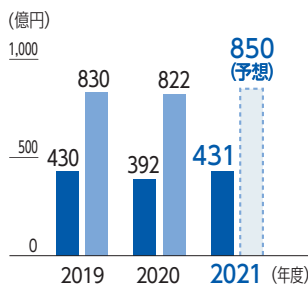
2021年11月

## 連結業績ハイライト (第71期 第2四半期)

■ 第2四半期累計 ■ 通期

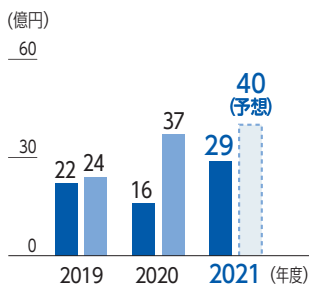
### 売上高

**431 億円**  
前年同期比 **9.8%増** ▲



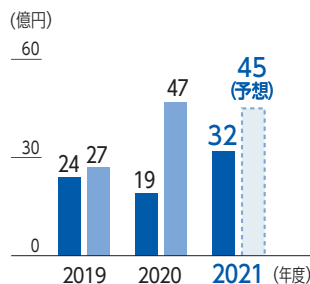
### 営業利益

**29 億円**  
前年同期比 **74%増** ▲



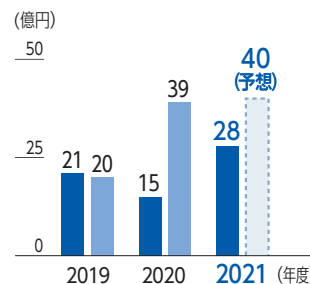
### 経常利益

**32 億円**  
前年同期比 **67.8%増** ▲



### 親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益

**28 億円**  
前年同期比 **84%増** ▲



#### 配当について

当期の中間配当金につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり20円(年間配当金は1株当たり40円)を予定しております。

### 船用事業

売上高  
**358億円**  
セグメント利益  
**27億円**

- 主な製品
- 航海機器
  - 無線通信装置
  - 漁労機器

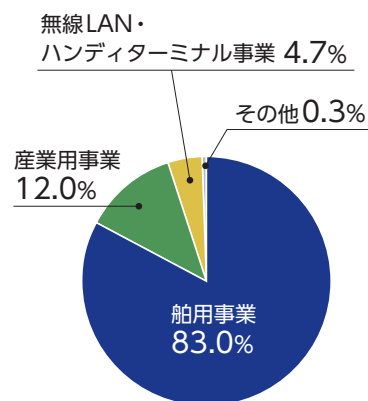


半周型カラー 3Dスキャニングソナー FSV-75-3D

■北米でプレジャーボート向け機器の販売が引き続き好調でした。欧州では商船向け機器の販売が前年同期比で高い水準を示しました。

■日本では、農林水産省の経営継続補助金の対象となる案件が引き続き売上に貢献しました。

### 事業別売上高構成比



### 産業用事業

売上高  
**51億円**  
セグメント損失  
**1.3億円**

- 主な製品
- 医療機器
  - GPS 機器
  - ETC車載器

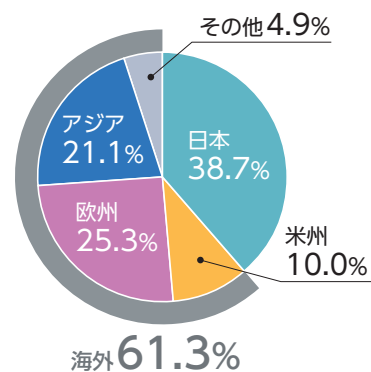


新セキュリティ規格対応ETC車載器 FNK-M17

■PNT事業のETC車載器の販売増加や携帯電話基地局向けGNSSタイミング製品の販売増加により増収となりました。

■ヘルスケア事業は国内の骨密度測定器の販売と東南アジアでの生化学分析装置専用試薬の販売が増加するも欧州で生化学分析装置の販売が減少し減収となりました。

### 地域別売上高構成比



### 無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高  
**20億円**  
セグメント利益  
**4.8億円**

- 主な製品
- 無線LAN 機器
  - 無線ハンディターミナル



Wi-Fi 6 対応アクセスポイント ACERA 1320

■無線LANアクセスポイントにおけるGIGAスクール構想向け特需の剥落により、大幅な減収となりました。

詳細な財務情報はフルノ企業情報サイトをご覧ください。

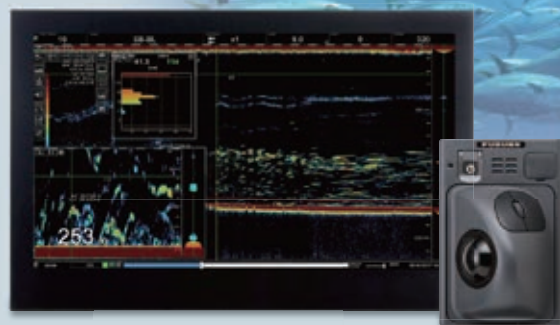
<https://www.furuno.co.jp/>  
>IR・投資家情報

## NEWS —新製品紹介—

2021年 4月発売

### 深場探知&荒天時でも、安定した探知ビームで魚群を掴む [FCV-38]

周波数 38kHz、送信出力4kWの低周波・高出力のハイエンド魚群探知機。深場での優れた探知能力を発揮します。また、標準搭載のビームスタビライズ機能により、荒天時でも安定した探知ビームを送受信できるため、船の揺れに左右されることなく魚群情報・海底情報を得られます。魚体長グラフ表示機能のほか、海底拡大画面を別ウィンドウで表示できるなど、資源調査や資源管理型漁業に貢献する仕様を備えています。



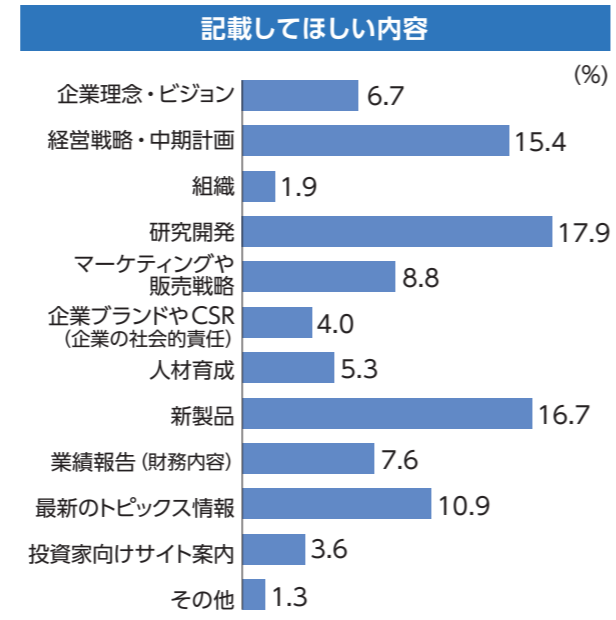
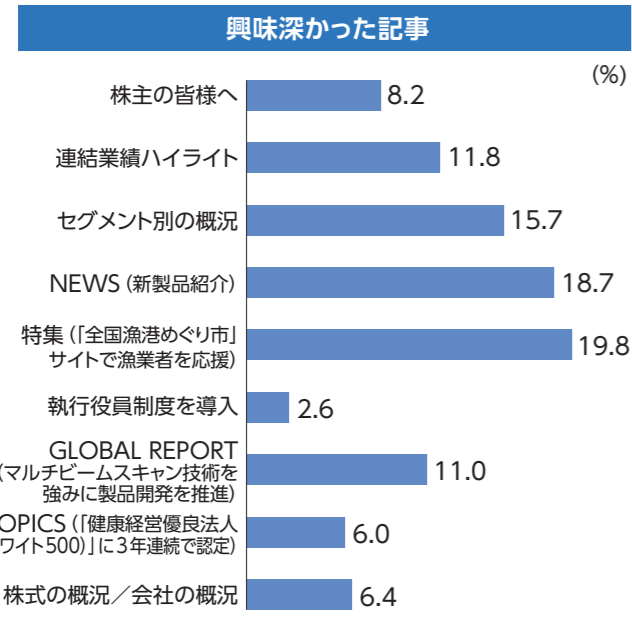
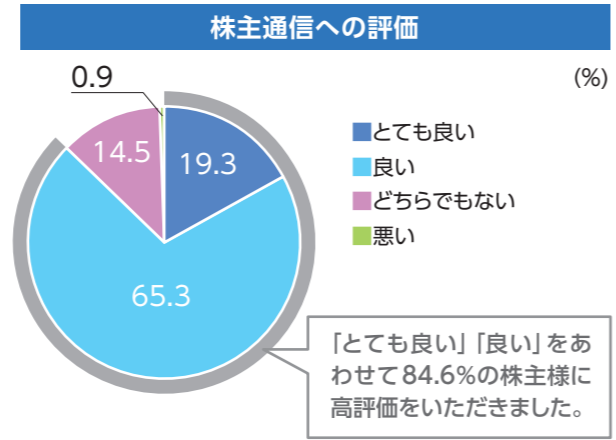
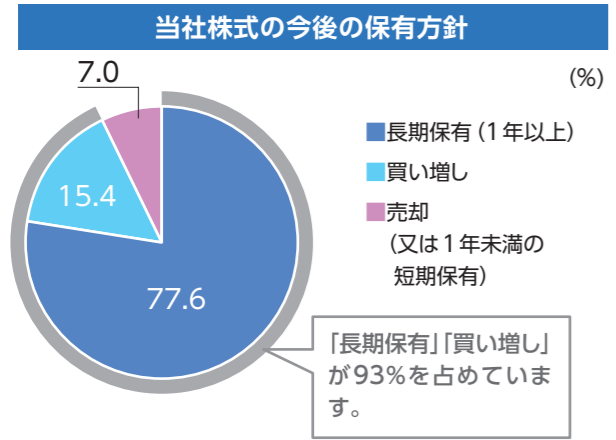
#### 特徴

スプリットビーム方式の採用で、最大5方向の同時探索や、送受信方向の角度設定も可能なことから、海中の様子や魚群の密集状況を広範囲で把握することができます。

# 株主様WEBアンケート結果のご報告

前回の株主通信にて告知したWEBアンケートに、多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご要望や激励のお言葉などを多数いただき、大きな励みとなりました。この場をお借りしてお礼申し上げるとともに、アンケート結果の概要についてご報告させていただきます。なお、ご回答いただいた株主様には「FURUNOカレンダー2022」を12月上旬に発送いたします。

【実施期間】 2021年5月28日～6月30日 【回答者数】 429名



- #### 主なコメント
- 未来の課題に突破口を切り開く商品開発を期待します。株主に恩恵をもたらしてほしい。
  - 優れた製品や技術力につき更にPRいただき、知名度アップを図っていただくことを期待します。
  - 頻りに釣行する堤防に御社の設備が設置されており、とても身近に感じております。益々の発展を期待します。
  - 前に比べて製品紹介や技術紹介が少なくなり残念。しかし全国漁港めぐり市（漁業者応援）はとても良かった。

## アンケートでいただいたご意見・ご質問にお答えします

### 「今後の海洋の電子化、IT化についての取り組みを教えてください。」

当社は、より安全で効率的な船舶の自律航行の実現に向けて、新たな技術革新に着手・推進しています。「見えないものを見る」は当社の事業テーマです。船舶の自律航行に向けて、「これまで培ってきた船用電子機器や独自のセンサー技術を生かして周辺状況の把握へとつなげる「認知支援」、収集したデータ情報を分析し周辺状況把握の結果に基づいた避航操船をサポートする「判断支援」へと展開。さらに、船舶の自律航行には「見えないものを見る」だけでなく、見えているものを「人の代わりにシステムが見る」ことも実現しなければなりません。この大きな課題を実現するために「自律航行システム開発部」を設立し、技術革新につながる製品の研究・開発を進めています。

取り組みの一つとして、公益財団法人 日本財団が主催する『無人運航船プロジェクト MEGURI2040』に参画しています。このプログラムは2025年までに世界初となる無人運航船の実用化に向けて、国内各分野の企業が協力して実証実験を行います。当社は、次の2つのプロジェクトのメンバーとして関連技術の確立を目指しています。

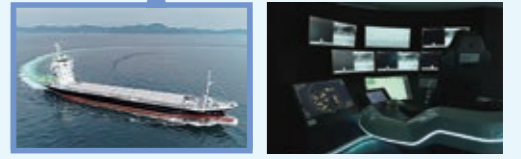


### DFFASプロジェクト [ 当社担当 自動運航システム ]

DFFASプロジェクトは、無人運航船による内航海運事業の実現を目指し、内航船の人手不足という社会的課題の解消に貢献します。2022年春に無人運航船の実証実験を行います。無人運航船を陸上から支援するフリートオペレーションセンターも千葉市美浜区に竣工。

当社は、船上の認知・判断・操作を担う船上の自動運航システムを担当しています。また、自動運航システムが陸上からの支援を必要と判断した場合に、同センターから本船を遠隔操作するなど、速やかに本船の安全確保をする非常対応システムを担当しています。加えてセンシングした自船・他船情報をVRで3次元表示することにより、自船周囲状況を俯瞰しながら中・長距離操船計画の立案を支援する「3D Bird Viewシステム」の開発も進めています。

※DFFASプロジェクトは、「Designing the Future of Full Autonomous Shipプロジェクト」の略。



株式会社イコース「すざく」 「フリートオペレーションセンター」内部の遠隔操船用コンソール

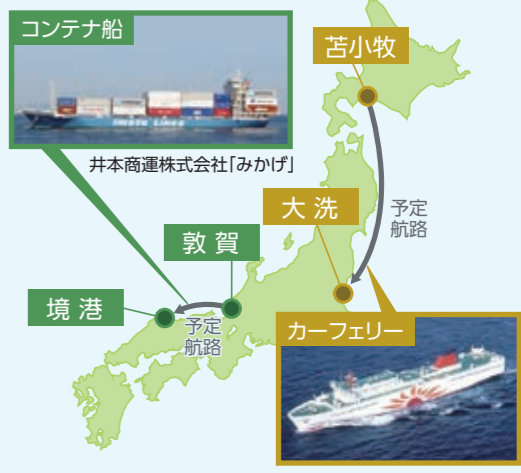
### 内航コンテナ船とカーフェリーに拠る無人化技術実証実験 [ 当社担当 認知支援 ]

内航の大型カーフェリーとコンテナ船という異なる船種2隻を用いた無人運航船の実証実験です。自動離着岸、自動操船、係船支援、陸上監視支援の技術開発と実証実験を行います。

当社は主に認知を担当し、離着岸支援として船上にカメラ、LiDARを設置し、着岸位置との高精度の相対距離、相対姿勢を計測しカメラ映像に重ねることで視覚的に状況把握できる機能の研究・開発を進めています。また、周囲情報把握システムとしてカメラによるAI画像認識結果とレーダー、AISを統合して見張りの代替・支援が可能となる機能の構築を目指しています。



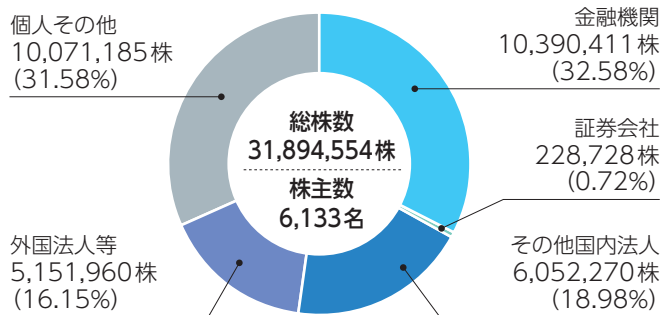
自動離着岸支援センサーの画面



井本商運株式会社「みかげ」 商船三井フェリー株式会社「さんふらわあ しれとこ」

～皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、今後もIR活動の充実に努めてまいります。～

## ■ 株式の状況 (2021年8月31日現在)



※個人その他には、自己株式353,636株(1.11%)を含んでおります。

## ■ 大株主の状況 (2021年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,186	13.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,710	5.42
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,062	3.37
古野電気取引先持株会	1,045	3.31
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱UFJ銀行	992	3.15
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	942	2.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	816	2.59
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	596	1.89
エコ興産有限会社	560	1.78

※持株比率は、自己株式353,636株を控除して計算しております。

## ■ 会社概要 (2021年8月31日現在)

社名	古野電気株式会社
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	3,045名(連結) 1,765名(個別)

## ■ 単元未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式(1~99株)をお持ちの株主様は、当社に対し市場価格で単元未満株式をご売却(買取制度)または単元(100株)にするために必要な株式を当社からご購入(買増制度)いただくことが可能です。

〈例〉45株をお持ちの株主様の場合

### 買取制度

45株を当社に売却することができます。

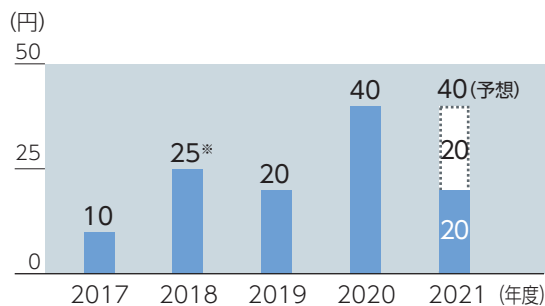
### 買増制度

55株を買い増して、100株にすることができます。

### 〈お問い合わせ先〉

- 証券会社等の口座でご所有の単元未満株式  
お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座でご所有の単元未満株式  
特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社(0120-288-324)にお問い合わせください。

## ■ 配当金の推移



※2018年度の配当金25円のうち、5円は創立70周年記念配当金です。

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	
定時株主総会	毎年2月末日
期末配当金	毎年2月末日
中間配当金	毎年8月31日
その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。	
公告の方法	電子公告 ( <a href="http://www.furuno.co.jp">http://www.furuno.co.jp</a> )
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人および特別口座の口座管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先(お問い合わせ先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324 (ご利用時間: 土・日・休日を除く9:00~17:00)
お取扱窓口	お取引の証券会社 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)